

大義強小京ら

山口左七郎友

一筆

完

うー公利大の力表とー

小の力表のトー

明夜迄く言中何迄

お前よりお前のお前より

多々々々々定昇るる

うすー一筆誠意お前

お前井おのるる

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

お前よりお前より

用國語に依るは其の意を
示すに之の所へある書面
合つて接合せしめられし
りての意をいふ

四角の古脚名も明後書
同是なりと云ふも常々
當世に於ては其の意を
接合せしめられし意を
示すに之の所へある書面
合つて接合せしめられし
りての意をいふ

官古書

九十八
山田文

紙

九十八

紙